

2025 度（第 15 事業年度）

「事業報告書」

一般財団法人 Ruby アソシエーション

1 事業の概要

2025年度の当財団の活動は、利用者がRubyを安定して利用できるよう、また便利に使えるように、Ruby安定版の保守事業、公募型開発プロジェクトの開発支援、Rubyの開発コミュニティに対して開発サーバー費支援を昨年度に引き続き継続しました。これらの開発による成果は、多くのRubyユーザーに恩恵をもたらすことが期待されます。

2025年度はRubyセミナーを大阪で、開発助成の成果報告会を東京で開催しました。また、技術者向けのセミナーはオンライン開催し、当日の動画を公開することにより情報発信を行いました。

当財団は、その目的であるRuby関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野におけるRubyの利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の2025年度の実施状況について報告します。

2 体制及びその変更

1) 評議員

2025年度評議員

- ・ 出田 健二 (株)まちづくり三鷹 (2025年4月30日辞任)
- ・ 大川 毅 (株)まちづくり三鷹 (2025年5月9日就任)
- ・ 大場 寧子 (株)万葉
- ・ 小崎 資広 富士通(株)
- ・ 後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・ 細美 彰宏 (株)日立ソリューションズ
- ・ 立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・ 中島 宏 (株)DTS
- ・ 羽田 昭裕 BIPROGY(株)
- ・ 森 正弥 (株)博報堂DYホールディングス

2) 理事

- ・ 代表理事 理事長 松本 行弘
- ・ 副理事長 井上 浩
- ・ 理事 橋本 明彦
田中 和明
笹田 耕一

3) 監事、顧問及び事務局

- ・ 監事 今岡 正一 (公認会計士)
- ・ 顧問 上定 昭仁 松江市長、丸山 達也 島根県知事
- ・ 事務局 前田修吾 (事務局長) が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ1名と外部委託1名の体制です。その他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。また、事例収集のため外部のライターと契約を行っています。

4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和 (評議員)
- ・委員 今岡 正一 (監事)、横田 早百合 (事務局員)、高橋 征義 (外部委員)、田中 哲 (外部委員)

3 実施事業

1) Ruby 開発及びその他支援事業

(1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト (既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む) を公募し、開発助成委員会で選考の結果、以下 5 件のプロジェクトを採択しました。

2026 年 3 月 31 日までに開発を終え、その成果を公開します。(5 件のうち 1 件中止)

- ・応募件数 : 27 件
- ・採択件数 : 5 件

| | |
|---|---|
| ① 採択者:株式会社クリア コード | プロジェクト: pure Ruby Apache Arrow実装の開発 |
| Apache Arrow は大きなインメモリーのテーブルデータを「低コストで交換」および「高速に処理」するための標準化されたデータフォーマットである。現代の多くのデータ処理ツールは Apache Arrow を基盤の 1 つとして採用し、各ツール感の相互運用性が高まっている。Ruby でも Apache Arrow を使うライブラリーは整備されており、Red Arrow や Ruby Polars などを使うことで Apache Arrow を使うことができる。しかし、これらは C++実装や Rust 実装のバインディングとして実装されており、高速・高機能であるが、インストールの敷居が高い。 本プロジェクトでは、低コストでのデータ交換のみにフォーカスした pure Ruby の Apache Arrow シリアライザー・デシリアライザーを実装する。pure Ruby で実装することにより、より手軽に Ruby で Apache Arrow を扱えるようにし、データ処理関連の Ruby ライブラリーが増える下地を整えることを狙う。 | |
| ② 採択者: Sharon Rosner | プロジェクト: UringMachine - bringing low-level I/O with io_uring to Ruby |
| Io_uring is a relatively new Linux API, permitting the invocation of Linux system calls asynchronously. UringMachine is a gem that brings low-level access to the io_uring interface to Ruby programs, and permits not only asynchronous I/O on files and sockets, but also timeouts, futex wait/wake, statx etc, with support for fiber-based concurrency. This project will work to enhance UringMachine to include a FiberScheduler implementation for usage with the standard Ruby I/O classes, to have builtin support for SSL, to support more io_uring ops such as writev, splice, fsync, mkdir, fadvise, etc. | |
| ③ 採択者: SIM SANGYONG | プロジェクト: 軽量型情報 LSP の開発 |
| Rubyの柔軟性を損なわずに有用な型情報を提供するLSPサーバを開発します。明示的な型宣言を必要とせず、正確な型推論の代わりに、ヒューリスティックな型推測(呼び出しメソッドからの推定、変数名パターンなど)を活用することで、大規模アプリケーションでも快適に動作し、日常的な開発で実用的な型情報が得られる開発体験を目指します。 | |

| | |
|---|-------------------------------------|
| ④ 採択者：Tadashi Saito (齋藤 匡) | プロジェクト：シェイプ事前構築とメソッド特殊化によるCRubyの最適化 |
| <p>応募者らは論文 Integrating Static Optimization and Dynamic Nature in JavaScript において、シェイプ（隠しクラス）と最適化に関わる手法を提案した。当該手法はJavaScriptに限らず、他の動的なオブジェクト指向言語処理系への応用が見込まれる。</p> <p>本プロジェクトはこのCRubyに対する実現可能性を探り、性能の向上を目指しつつ、その影響を評価する。また必要に応じて、関連する実装の調査・改善も行う。</p> <p>※諸事情により中止</p> | |
| ⑤ 採択者：Evil Martians | プロジェクト：TutorialKit.rb |
| <p>TutorialKit.rb is a framework for building interactive, browser-based tutorials for the Ruby ecosystem. It lets developers create hands-on environments where users can experiment with Ruby gems and frameworks like Rails directly in the browser - no local setup required. The environment runs via WebAssembly and provides a full Ruby development setup with an editor, terminal, and configurable gem dependencies, making Ruby education, documentation, and onboarding more accessible and reproducible.</p> | |

(2) その他の助成

用途を限定しない助成金の申請窓口を設置し、公募型開発以外の分野でも助成を受け付けました。2025年度はRuby開発者会議への助成をおこないました。

(3) Ruby 安定版保守事業

ユーザーが安心してRubyを利用できる環境を構築するため、Ruby安定版の保守事業を実施しています。2025年度はボランティア・フルタイムコミッタの方により保守作業が行われたため、委託費用は発生しませんでした。

(4) サーバー運営費支援

Rubyの開発コミュニティに対して開発サーバー費を支援しました。

(5) Ruby 開発合宿

RubyWorld Conference 前日に松江でRubyハッカソンを開催しRubyコミッタへの旅費、宿泊費を補助しました。

(6) www.ruby-lang.org リニューアル

www.ruby-lang.org のデザインをリニューアルしました。

2) 情報発信事業

(1) 事例紹介

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業の企業担当者にオンラインで取材し、概要情報と詳細情報を作成しました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザー(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザーに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2025 年度は新たに 4 件の利用事例を紹介しました。

| 2025 年度掲載企業 | テーマ |
|--------------|--|
| エースチャイルド株式会社 | 少人数で高速開発！子どもたちの安心を守るプロダクト開発の軌跡 |
| 株式会社 mov | 日本発の Ruby で日本のポテンシャルを最大化させる — 技術とコミュニティへの愛で築く mov 開発部の組織戦略 |
| 株式会社 IVRy | 電話業務をもっと人に寄り添うものへ。Ruby とともに進化する、対話型音声 AI SaaS『アイブリー』 |
| STORES 株式会社 | 「Just for Fun」をテクノロジーで実現する STORES が Ruby を選び続ける理由 |

(2) RubyWorld Conference 2025 の開催

2025 年 11 月 6 日(木)、7 日(金)に島根県松江市で開催された RubyWorld Conference 2025 において開催実行委員会の構成団体として参加しました。

(3) Ruby セミナー開催

①Ruby セミナー

2025 年度は東京と大阪で集客型のイベント及びオンラインでのイベントも開催いたしました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。

| 開催時期 | イベント名 | 参加人数／登録者数 |
|------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 2025 年 6 月 | Ruby セミナー大阪 | 59 名／57 名 |
| 2025 年 8 月 | Ruby Association Activity Report | 79 名／84 名 (Zoom 参加者 27 名含) |
| 2026 年 1 月 | Ruby 技術者認定試験合格者ミーティング with まつもとゆきひろ | 15 名／15 名 |
| 2026 年 3 月 | オンラインセミナー | 35 名／41 名 |

②Ruby リリース 30 周年パーティー

Ruby のバージョン 0.95 がリリースされた 1995 年 12 月 21 日から 30 年が経過した節目として、2025 年 12 月 20 日に Ruby リリース 30 周年パーティーを開催しました。

(4) ジョブボード

Ruby の求人情報を掲載できるジョブボードを提供しています。Ruby アソシエーションの協賛会員を中心とした Ruby の求人情報を掲載しております。(非会員企業も求人掲載可能)

(5) ウェブサイト

イベント情報や助成金に関するお知らせを掲載しました。

4) Ruby 技術者認定試験事業

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。

2026年3月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

| 認定種別 | Gold | Silver |
|--------------------|--------|--------|
| 認定システムインテグレータプログラム | 33(33) | 39(37) |
| 認定教育機関プログラム | 5(5) | 2(3) |
| 認定サポート事業者プログラム | 2(2) | — |
| 認定クラウドサービス事業者プログラム | 1(1) | — |

※()内は前年度数

6) 協賛会員事業

・会員資格

法人、任意団体及び個人

・会員種別、会費

年会費 1口 10万円(4月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5口以上(50万円以上)

②Gold Sponsor 2口～4口(20万円～40万円)

③Silver Sponsor 1口(10万円)

2026年3月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

| Platinum : 年間5口以上 | Gold : 年間2口～4口 | Silver : 年間1口 |
|----------------------|-------------------|------------------|
| 16(16) | 13(13) | 47(48) |

※()内は前年度数